

1月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川: 左右岸 15.0km～21.0km 管轄出張所: 岡崎・安城出張所
実施日	令和 7 年 1 月 6 日	実施区間	19.0km ～21.0km (右岸)

渡橋～美矢井橋間、右岸では堤防整備
「3月まで堤防閉鎖」の看板
定期的な恒例の作業

正月の「休み明け」になった1月6日(月)、今年最初のモニタリングに出ました。当日の朝は曇り空で、かなり冷たい空気を感じる日でした。時折、小雨が降ったり、太陽が顔を出したりと、微妙な空模様でした。

渡橋から右岸堤防を下流に進もうと思いましたが、写真のように「通行止め」となっていました。看板には、「3月まで堤防閉鎖」とありました。この時期は堤防の整備期間になっているようです。

渡橋下付近は巨大な中州が
橋上からも、川の透明度を確認

この時期、渡橋下付近の矢作川には、広大な中州が出現します。川の水量と地形によって生じると思われるこの中州は、矢作川の魅力の一つです。また、この一帯の河原はとても広大で、野草が群生しています。

河原に実をたくさんつけた木を発見
センダン(栴檀)の実か？

河岸をよく見ると、小さな団子のような実をたくさん付けている木がありました。調べてみると「センダン」のようです。そのようすから「千団」と呼ばれ、これが「栴檀」と書かれるようになったという説があります。矢作川の生態系は見えていて飽きません。



③上: 大きく広がる渡橋付近の河原の野草群
右: 川岸に、センダンの木。実がいっぱい



① 渡橋付近に通行止めの看板
堤防の整備が3月まで続く



② 渡橋下に大きく広がる中州、砂浜

